

専務理事方針

本多 孝司

設立65年目を迎える中津川青年会議所は、次代を見据え様々な社会開発運動を展開してきました。我々は、「明るい豊かな社会」を実現させるため、活動の根底にある「利他の精神」を忘れることなく、次代のまちを創る当事者としてその運動を継続していかなくてはなりません。今後もまちの発展に寄与する運動を展開していくためには、メンバー一人ひとりが結束し、組織的に行動していくことが必要であると考えます。

組織として価値のある運動を力強く行っていくためには、活動を行うメンバー自身の質の向上と信頼関係の構築が必要不可欠です。個としての質を向上させるためには、様々な活動を通じ、自らの見識を広げることが必要ではないでしょうか。多様な価値観に真剣に向き合うことで新たな学びが得られるのだと考えます。そして、互いに切磋琢磨し、苦楽を共にすることで信頼関係が構築されていくのだと考えます。自らの可能性を信じ、個としての成長に努め、結束を高めることが組織としての力となり、大きな運動発信に繋がると考えます。また、一人でも多くの同志を増やし共に運動を行っていくためにも、青年会議所活動の意義をメンバーが認識し、その価値を広く発信していく必要があると考えます。

中津川青年会議所は、公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会2020年度会長輩出及び事務局主管を担います。かつて経験したことのない新たな挑戦をするために、メンバー一人ひとりが担いを全うする責任と自覚を持ち、新たな成長を遂げるチャンスと前向きに捉え、結束を高めて行動していくことが必要であると考えます。

私は、専務理事として副理事長と連携を深め、理事長を全力で支えると共に、メンバーが互いに切磋琢磨し信頼関係を築くことができるよう、成長の機会を大切にされた組織運営に邁進して参ります。

<事務局>

本質的な議論に集中できるよう円滑な会務運営を行っていただきたい。渉外業務では、青年会議所の運動発信をより多くの方に知っていただけるよう努めると共に、思いやりのある設営、出向者支援をしていただきたい。また、メンバーが次代のために会員拡大に取り組む自覚を持ち、組織的に活動ができる環境を整えていただきたい。

<東海地区協議会準備特別委員会>

メンバーが2020年度の活動をイメージし、滞りなくスタートができるよう調査研究

及び情報共有を行っていただきたい。